

インドネシア人バティック染色家ロツソさん  
によるバティック染色の実演と講演

# バティック染色の魅力

2010年10月8日(金) 14:50~16:20 / 113教室



インドネシアのバティック (batik) は、木綿布に手描きや型を使って文様を表わす更紗 (さらさ) の一種です。染料を直接布に塗るのではなく、色をつけたくない部分に溶かした蠟 (ろう) を塗ってから染める防染 (ぼうせん) という技法を使っているところに特徴があります。防染の材料に蠟を使うところから、蠟纈染 (ろうけつぞめ) とも呼ばれています。インドネシアではジャワ島を中心に長い伝統があり、江戸時代には日本にも輸入されてジャワ更紗の名前で愛好されました。

20世紀にはいと、化学染料とプリント染色技術の発達で、大量生産された更紗が市場にあふれ、伝統的なバティック技法は衰退していきました。しかし、近年、再び伝統的な技法で作られたバティックの良さが見直されるようになりました。2009年10月にインドネシアのバティックがユネスコの無形文化遺産に登録されたことも追い風になっています。

講演者のロツソさんは、1970年ジャワ島中部のバントウル生まれ。天然の染料を用いる伝統的なバティック技法を使って、新しいデザインのファッションを生み出す試みに取り組んでいます。今回の講演会では映像資料と実物による実演でバティックの魅力をみなさんにご紹介します。バティックが、継承される伝統にとどまることなく、進化しつづける伝統であることがわかりいただけると思います。

■日時：2010年10月8日(金) 4限  
(午後2時50分~4時20分)

■場所：東京外国語大学 研究講義棟 113教室

■アクセス：西武多摩川線多磨駅 (駅から徒歩10分) または京王飛田給駅 (駅からバスで10分)

■入場無料・予約不要・一般の方にも公開しています。

■主催：東京外国語大学外国語学部インドネシア語専攻

■URL：[http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/aoyama/2010/10/post\\_175.html](http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/aoyama/2010/10/post_175.html)

■連絡先：042-330-5300 または [taoyama@tufs.ac.jp](mailto:taoyama@tufs.ac.jp) (青山)